

授業科目 身体障害作業療法評価学実習 II

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	作業
泉 良太、岩波 潤		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 身体障害領域における作業療法評価を実施するために、各検査の基本的な知識・技術を修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体障害領域における作業療法評価について説明できる。 2. 各検査の意義と方法について列挙できる。 3. 疾患に応じて適切な検査を選択できる。 4. 作業療法の評価計画を立てることができる。 5. 作業療法の対象となる人や障害に関心を持つことができる。 6. 一般的な礼節を身につける。 7. 予習・復習を実施し積極的に授業に参加する。 8. 検査を繰り返し練習し熟練する。 9. 評価結果を統合解釈し病態を的確に分析することができる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	関節可動域測定と結果解釈			1-9	講義・演習、担当：岩波 潤
2	関節可動域測定と結果解釈			1-9	講義・演習、担当：岩波 潤
3	筋力検査と結果解釈			1-9	講義・演習、担当：泉 良太
4	筋力検査と結果解釈			1-9	講義・演習、担当：泉 良太
5	筋力検査と結果解釈			1-9	講義・演習、担当：泉 良太
6	筋力検査と結果解釈			1-9	講義・演習、担当：泉 良太
7	姿勢反射検査と結果解釈			1-9	講義・演習、担当：泉 良太
8	筋緊張検査と結果解釈			1-9	講義・演習、担当：泉 良太
9	協調性検査と結果解釈			1-9	講義・演習、担当：岩波 潤
10	摂食・嚥下機能検査と結果解釈			1-9	講義・演習、担当：泉 良太
11	上肢機能検査と結果解釈			1-9	講義・演習、担当：岩波 潤
12	各検査のまとめ			1-9	講義・演習（泉・岩波）
13	脳血管障害の評価と結果解釈			1-9	講義・演習、担当：岩波 潤
14	頸髄損傷の評価と結果解釈			1-9	講義・演習、担当：泉 良太
15	まとめ			1-9	講義・演習（泉・岩波）
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		新・徒手筋力検査法 原著第8版	Helen J. Hislop 他	協同医書出版社	2008・7,500円＋税
		ベッドサイドの神経の診かた 改訂17版	田崎 義昭 他	南山堂	2010・7,200円＋税
		作業療法評価学 第2版	岩崎 テル子 他	医学書院	2011・5,800円＋税
参考書		神経局在診断 改訂第5版	Peter Duus 他	文光堂	2010・10,000円＋税
		分担解剖学	森 於菟 他	金原出版	1982・9,300円
その他の資料					
【評価方法】 授業態度（2割程度）、実技試験（4割程度）、 定期試験（4割程度）		【履修上の留意点】 受講にあたり、骨・筋・神経系を中心とした解剖生理学的知識が要求される。 骨・筋を確認しながら検査を実施するため、半袖・半ズボンの上にジャージ等を着用して授業に参加すること。			